

町民のみなさんと歩む 木古内町

KIKONAI 議会だより

<http://www.town.kikonai.hokkaido.jp/kikonaityougikai/kikonaityougikai.htm>

vol. 137

平成29年2月1日発行

- 発行／木古内町議会
- 編集／議会だより編集特別委員会
- 〒049-0422北海道上磯郡木古内町字本町218
- TEL. 01392-2-3131 FAX. 2-3622

木古内町議会

検索

寒中みそぎ祭り～厳寒の水ごり～

contents

動物愛護条例の制定 12月定例会	P2
5名の議員が町政を問う	P4
特集1 中学生議会	P10
意見書7件を提出	P13
特集2 議会懇談会 商工産業を考える	P14
病院事業 改革プラン策定へ	P16
はこだて和牛の生産は 町民インタビュー	P18

12月 定例会



ペットは飼い主を選べません。
社会と共に存するためにはモラルとマナーは大切です。

平成28年12月定例会は、12月15日に開催され、平成28年度一般会計のほか5会計の補正予算、条例の制定・改正等の議案9件、同意案3件、閉会中の所管事務調査の発議案1件（詳細3ページ）、意見書案7件（詳細13ページ）が原案のとおり可決されました。主な議案は、臨時福祉給付事業の追加補正予算

のほか、条例制定では、飼い主の遵守事項が明記された動物の愛護及び管理に関する条例が可決されました。（詳細下段）

また、一般質問では、竹田議員、相澤議員、平野議員、鈴木議員、手塚議員の5名が質問をし、活発な議論がなされました。（詳細4ページ以降）

○動物のふんなどを適保すること
○動物の健康状態に留意すること
○適正な飼育状況を確保すること
○動物のふんなどを適保すること
○動物の鳴き声や体臭など、周辺住民へ配慮すること

○当町の委員定数は10名
○当町の委員定数は10名
○農業者以外の委員の登用（1名以上）
○町が委員の推薦・公募を実施（委員評議員会での審議）

動物の愛護及び 管理に関する条例を制定 町がペットの飼育ルールを条例化

条例制定等 ペットの飼育が条例化されました

町民の動物に対する 愛護の意識の高揚を図る

農業委員が選挙制から町長の任命制へ

○飼っている動物の逸走した場合には、自己責任により捜索すること

主な議決事項

議案第1号 平成28年度木古内町一般会計補正予算（第7号）

議案第2号 平成28年度木古内町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

議案第3号 平成28年度木古内町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

議案第4号 平成28年度木古内町水道事業会計補正予算（第1号）

議案第5号 平成28年度木古内町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

議案第6号 平成28年度木古内町下水道事業特別会計補正予算（第1号）

議案第9号 木古内町嘱託員の設置に関する条例の一部を改正する条例制定について

議案第10号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について

議案第11号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について

議案第12号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

議案第13号 木古内町税条例の一部を改正する条例制定について

議案第14号 木古内町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

議案第15号 木古内町中小企業振興融資条例の一部を改正する条例制定について

人事院勧告に基づき 職員等の給与を改定

人事院勧告に伴い職員等の給与が改定されました。改正内容は、勤勉手当の支給月数0.1ヶ月分をそれぞれ引き上げるものであります。

基本給を平均で0.2%、

勤勉手当の支給月数0.1ヶ月分をそれぞれ引き上げるものであります。

歳出では、木古内駅西側駐車場整備工事2000万円、人事院勧告に伴う影響分と共に組合負担金等の率の確定に伴う職員給与費1

歳出では、木古内駅西側駐車場整備工事2000万円、人事院勧告に伴う影響分と共に組合負担金等の率の確定に伴う職員給与費1

は、1677万円を減額し、49億2290万円となりました。
保育料の算定方法が変わりました

子ども・子育て支援法施行令及び同法施行規則の一部改正により、保育料の算定方法が変更され保育料が軽減されます。

○改正前は入園している児童のみカウントし、1人目が半額、2人目以降は無料でしたが、生計を同じくする小学生以上の子どももカウントの対象となり、保育料が軽減されます。

○支給額は、一人当たり1万5千円
○2月下旬頃に支給対象者に申請書が送付される予定です。

議会閉会中の総務・務調査項目の承認
の補正総額は、537万8千円を減額し、9億6298万円となりました。

後期高齢者医療特別会計

臨時福祉給付金が支給されます

る際に対象となる子どものが年齢制限が撤廃されます。

○町民税所得割額が7万7千101円未満のひとり親世帯等の保育料を第1子半額、第2子以降は無償となります。

実績確定に伴う減額などで歳入歳出の補正是額は、67万1千円を減額し、1億660万8千円となりました。

議会閉会中の総務・務調査項目の承認
の補正総額は、537万8千円を減額し、9億6298万円となりました。

人事院勧告による人件費の減額などで歳入歳出の補正総額は、65万円を減額し、6億9355万3千円となりました。

人事院勧告及び職員の異動等による人件費の減額などで歳入歳出の補正総額は、65万7千101円未満(ひとり親世帯等7万7千101円未満)の多子世帯の保育料におけるきょうだいの順位(第何子であるか)を決定す

補正予算

一般会計

主な補正内容は次のとおりです。

歳入では、保育料負

担軽減に伴う利用者負担金118万2千円、

駐車場整備事業交付金3038万8千円の減額、年金生活者等支援

額、外国人技能実習生の受入に伴う企業振興助成金45万円、臨時福祉給付金1950万円、私

立保育所運営委託料2億568万8千円となりました。

○町民税所得割額が5万7千700円未満(ひとり親世帯等7万7千101円未満)の多子世帯の保

育料におけるきょうだいの順位(第何子であるか)を決定す

下水道事業特別会計

【町民課】

人事院勧告による人件費の減額などで歳入歳出の補正総額は、28万3千円を減額し、2

億568万8千円となりました。

介護保険事業特別会計

【建設水道課】

・放課後児童健全育成事業(学童保育)施設の改修状況について

【病院事業】

・木古内町病院事業改革プランについて

その他の緊急を要する課題について

被災農業者向け経営体育成支援事業補助金53万7千円、中学校各部活動・大会参加報償費149万3千円を追加するものです。
歳入歳出の補正総額

は、1677万円を減額し、49億2290万円となりました。
保育料の算定方法が変わりました

○改正前は入園している児童のみカウントし、1人目が半額、2人目以降は無料でした。

現在受付を実施している1人当たり3千円の臨時福祉給付金支給者と同じかたを対象に臨時福祉給付金(経済対策分)が支給されます。

○支給額は、一人当たり1万5千円
○2月下旬頃に支給対象者に申請書が送付される予定です。

国民健康保険特別会計

人事院勧告による人件費の減額などで歳入歳出の補正総額は、65万円を減額し、6億9355万3千円となりました。

被災農業者向け経営体育成支援事業補助金53万7千円、中学校各部活動・大会参加報償費149万3千円を追加するものです。
歳入歳出の補正総額



一般質問

5名の議員が 町政を問う

一般質問は、定例議会（年4回）において、町政全般にわたる事項を議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見、是正を求めるものです。



※12月定例会より、一般質問は試行的に質問回数を撤廃し時間制（1問20分）で実施しました。

竹田 努 議員

- 1 自主防災組織について
- 2 「いきいきサロン」と「空き家を活用した地域会館」の整備について

相澤 巧 議員

- 1 小学校、中学校の就学援助について

平野 武志 議員

- 1 町主催イベントの開催企画案について

鈴木 慎也 議員

- 1 戰略的支援策で「ベットタウン木古内」の新しい可能性について

手塚 昌宏 議員

- 1 町河川の管理について



竹田 努 議員
takeda tsutomu

問　自主防災組織等を組織すべきでは

答　計画に基づき組織化へ支援していきます —— 町長

防災訓練の効果分析 はできていますか

本道に多くの台風が上陸し大きな被害が発生しました。このような事態に対処するために次の大切な項目と感じております。町長の見解を伺います。

- (1) 各地域における自主防災組織等の組織化
- (2) 防災訓練の効果を含めた分析実施
- (3) 防災備品の分散化

大森町長 (1) 木古内町防災計画に「自主防災組織指導育成計画」が明記されていますが、現在は担い手不足から防災組織が1町内会のみとなっています。今後も各町内会へ制度説明等を行い、組織化へ支援していきます。

(2) 防災訓練の効果と分析についてですが、本年度大平地区で防災訓練を実施し71名の参加

があり、避難訓練のほか消化器の取扱い訓練や簡易担架作成なども実施し認識の高まりを感じています。

(3) 現在、防災備蓄品は木古内中学校と木古内中央公民館の2箇所を

避難場所への配備については順次進めていきます。

長期間の避難生活を行う場所と位置付けており備蓄しています。各

「いきいきサロン」を 地域全体に

高齢化率45%の町と高して、地域に住民主体の「いきいきサロン」を立ち上げるべきと考えます。そのためには、集う場所が必要であり、会館のない地域には「空き家を活用した地域会館」の整備が急務と考えます。町長の見解を伺います。

には、「空き家を活用した地域会館」の整備が急務と考えます。町長の見解を伺います。



今年度港町・大平町内会を対象に実施した防災訓練
普段使うことない消化器の取扱い学ぶ参加者

「いきいきサロン」を 地域全体に

大森町長 サロンの実施は5地域で、全地域を対象とした集いの場を3回実施しています。本町地区には地域会館がない町内会が存在しておりますが、会館の必要性も理解しています。その場合、公民館などの利用をお願いしていますが、公共施設までの距離があり遠いなどの場合は空き家の活用についても支援をしています。



相澤 巧 議員
aizawa takumi

問 入学前に就学援助を支給できないか

答 平成30年度以降の入学者を対象に検討します — 教育長

**就学援助の支給は
早くするべき**

小学校、中学校の就学援助（※1）については、義務教育は無償とした憲法第26条などの関係法令に基づき、児童生徒が安心して勉学に励めるように、学用品や修学旅行費などを補助するということで、大変有意義な制度だと考えています。

当町でも小学校、中学校で実施され、入学後に申請し、実際に受け取るのは、5月頃となっています。しかし、本当に補助が必要な時期は入学前ではないでしょうか。予算が確定する前ですので支給が難しい面もあると思いますが、先進地の例などを参考に入学前支給ができるようにしていただきたいと考えます。教育長の見解を伺います。

野村教育長 平成28年度の小学校、中学校における就学援助費の給付の現状は、要保護、準要保護として認定した児童生徒の人数が21名で、そのうち小学1年生が2名、中学1年生が3名で合わせて5名となっています。

また、就学援助費の申請手続きについては、毎年2月下旬から3月にかけて受付を行い、審査により対象者を認定し、5月中旬から支給を開始しています。

入学前支給については、保護者の負担軽減を図る観点から、一定の理解はできるため、平成30年度以降の入学者を対象に検討していきます。



小学校入学式時の交通安全指導

（※1）就学援助制度…学校教育法第19条において「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えるなければならない。」とされています。

補助対象品目は学用品費、体育実技用具費、新入学児童生徒学用品費等、通学用品費、通学費、修学旅行費、校外活動費、医療費、学校給食費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費



平野 武志 議員
hirano takeshi

問 積極的なイベント開催を

答 既存のイベントをより魅力あるものに企画検討します —— 町長

**町主催のイベント
企画を提案します**

平成28年は、「新幹線開業記念」の冠

をつけ、様々なイベントを実施し、交流人口の増加など大きく飛躍した年となりました。

この効果を継続するためには、新規イベントの開催が必要と考えます。イベントを次とのおり提案しますので、町長の見解を伺います。

(1) 新幹線開業一周年事業

(2) はこだて和牛祭：知名度向上を目的に「はこだて和牛」をメインとした企画

(3) 木古内町の歴史・文化イベント：歴史の冊子作りなど「いかりん館」で実施、「寒中みそぎ」の無形文化財指定を目指しイベントの拡大

(4) 町主催の婚活イベント：町が主体となる企画の提案

(5) 海・山・自然を活用した新規イベント：磯場や薬師山を利用したイベント

大森町長

(1) 新幹線開業1周年記念イベントの開催を木古内公益振興社と検討しています。

(2) はこだて和牛については、産業まつりや道の駅まつりにおけるはこだて和牛まつりなどを提案しますので、町長の見解を伺います。

(3) 町内の高齢のかたより話を伺い、絵本作りを進めています。「いかりん館」の和牛商品の提供を実施しています。はこだて和牛をメインとしたイベントについて、展示の充実、資料展示会を開催するなど、事

が、知名度のある伝統的な奇祭であり、町と

しておませんので、難しいと判断しています。道の指定基準に該当しないと判断しますが、今後も既存のイベントを、より魅力的にできるよう検討します。

野村教育長

(3) 町内の高齢のかたより話を伺

いても寒中みそぎフェスティバルのさらなる内容充実に向け支援したいと思います。(4) 従来のとおり民間の取り組みに人的支援を含めた支援をします。

(5) 今年度には芝桜を周遊する花と歴史のスタンプラリーを実施し、その期間中に薬師山の麓にカフェをオープンしました。磯場を活用したイベントは漁業者の理解を得ることが難しいことから、将来的には釜谷漁港で新たに水産関係事業を開拓するため、体験観光などの取り込みを検討しています。

大森町長

(3) 寒中みそ

ぎの無形文化材指定を目指すことについては、



寒中みそぎフェスティバルでの青森県今別町の「大川平荒馬」
今後も魅力的なイベントが求められる

7 2017.2.1 Vol.137
木古内町議会だより



鈴木 慎也 議員
suzuki shinya

問 交通の利便性を活かしたまちづくりを

答 調査・研究を進め、施策を取りまとめたい —— 町長

**「ベットタウン」の
新たな可能性は**

本年度から企業誘致

やちょっと暮らし

(※1) の準備が進ん

でいますが、雇用面か
らの人口増だけでは難
しいと考えます。並行

して新たな戦略的支援
策を展開し、住む町木

古内として選択する際
のきつかけを創出する

べきと考えます。交通
の利便性を活かし環境
整備を進め「ベットタ

ウン(※2) 木古内」
としての施策が必要と
考えます。以下の3点
を提言しますので、町
長の見解を伺います。

(1) 求人求職者マッチン
グ支援策：求人情報
を関係機関と連携し、
タイムリーな情報提
供。

(2) 大学生の転入促進：
近隣大学生の家賃、
通学補助をはじめ、
仕掛けとして「学習
支援教室」の講師と

しての活用やボラン
ティア活動への参加
を促進。

(3) 町外通勤者への通勤
費支援

町から522名の方が
町外で働いています。
また、町外から木古内
へ通勤しているかた
の人数は公表されてい
ません。

大森町長 (1) ハローワークとの連携により、
毎週1回、最新のもの
を庁舎1階に掲示し、
町内事業者の求人情報
も合わせて掲示してい
ます。職業斡旋は、職
業紹介責任者の配置が
必須となり職員の資格
受講を含め検討します。

(2) (3) インターチェンジ
開業により利便性が高
まることから、調査・
研究を進め、開業まで
に施策を取りまとめた
い。

大森町長 大学生の受
入れとなると、大学ま
での距離などさまざま
な問題が生じます。大
学生の若い力は大事な
ものと認識しています
ので、実現できるよう
会議の中でしっかりと
議論していきます。

（※1）の準備が進ん
でいますが、雇用面か
らの人口増だけでは難
しいと考えます。並行
して新たな戦略的支援
策を展開し、住む町木
古内として選択する際
のきつかけを創出する
べきと考えます。交通
の利便性を活かし環境
整備を進め「ベットタ
ウン(※2) 木古内」
としての施策が必要と
考えます。以下の3点
を提言しますので、町
長の見解を伺います。

福田まちづくり新幹線
課長 国勢調査の数字
で言いますと、木古内



道営住宅「あえ～る駅前団地」（写真左）
駅北口側に位置しアクセスもよい

(※1) やちょっと暮らし…短期間町に滞在する宿泊施設。

(※2) ベットタウン…都心へ通勤する人の住宅地を中心に発達した都市圏周辺
の衛星都市。

2017.2.1 Vol.137
木古内町議会だより



手塚 昌宏 議員
tezuka masahiro

問 町河川の定期的な管理を

答 懸念される箇所を特定し、効果的な伐採を検討する —— 町長

**町河川には雑木
流域が狭い**

町 河川は、河川敷にかなり太くなつて流域が狭くなっています。大雨時は河川の氾濫が予想され、災害のない町づくりのためにも定期的な処理が必要です。また、クマやシカなどの移動経路や身を隠す場所となつております。年河川周辺の農業被害が多くなっています。

河川の雑木処理等について町長の見解を伺います。

大森町長 町が管理する河川の多くが未改修の原始河川であることや、河川敷の所々に大きい雑木が生育しています。雑木等の定期的な処理は、災害防止からも極めて大切だと認識していますが、多額な財政負担が伴うことも事実です。一方で、大

雨の時には、太い雑木が川の流れを阻害し、河川氾濫の原因になることもあります。

河川氾濫の原因になることとも考えられることから、河川阻害が懸念される箇所を特定し、

局所的な伐採を考えて

います。また、この伐採により鳥獣等の被害対策としても期待でき

ると考えていますので、今後も適正な河川管理に努め、予防的措置が最大限に發揮されるよう努めています。

再質問 町河川は多数あります。河川氾濫の原因になることがありますか。

再質問 先日、大平川

の写真を撮ってきましたが、非常に見通しが

悪く、鳥獣の住み家になりますので、大きな災害や被害が出る前に

いたぎながらパトロールを行っています。

また、大雨時には増水状況の確認、決壊等があ

ればその都度対応し

ます。

再質問 先日、大平川

の写真を撮ってきましたが、非常に見通しが

悪く、鳥獣の住み家になりますので、大きな災害や被害が出る前に

いたぎながらパトロールを行っています。

また、大雨時には増水状況の確認、決壊等があ

ればその都度対応し

ます。



雑木が生い茂る大平川

特集 1

中学生議会

まちへの思い
故郷を元気にしたいから



定例会
一般質問
特集 1

意見書

特集 2

常任委員会

中学生が議員となり、
町政に関する一般質問を町に対して行う
「中学生議会」を11月
28日に役場議場で開催
しました。

開催の目的は、町政に対する関心や主体的に地方自治への参画意識を高めてもらうことが主なもので、総合的な学習の一環として今回で3回目の開催となっています。

今回の開催では、中学生3年生22名が議員となり、そのうち代表で議長と一般質問者10名を選出し、町長、教育長より回答する形式で開催しました。

一般質問の内容は、質の高い内容であるとともに、まちへの強い思いが感じられました。

【出席議員】	
1番	浅野 夏輝
2番	石塚 真都莉
3番	五日市 遥香
4番	大塚 海斗
5番	大森 達郎



議長を務めた嶺井愛樺さん。
当日は緊張することなく、
落ち着いて議事進行を行つていました。

6番 工藤 恭一
7番 小池 陸翔一
8番 沢口 茜
9番 丹萌々香
10番 手塚 俊輔
11番 中村 洋大
12番 西村 透弥
13番 増川 海翔
14番 藤根 結芽
15番 平野 宽大
16番 三浦 元葉
17番 三崎 浩大
18番 水口 元葉
19番 村上 雪枝
20番 嶺井 大心
21番 心太朗 恒也
22番 愛樺 碧空

Q 中学校体育館の修繕を

A 早期に原因究明し、改善に努力します



手塚 俊輔議員

中学校の体育館は良く雨漏りがしたり、支柱の金具が高く飛び出しており、大変危険な状況です。修繕対策の検討をお願いします。

野村教育長 雨漏りについては、雨の侵入する箇所が特定できませんので、再度調査を実施します。また、支柱については、学校と協議をした上で年内に改善していきます。

Q 中学校グランドにトイレと時計の設置を

A 野外トイレは難しいが、時計は次年度に



中村 洋議員

野外トイレの設置については、工事費と維持費がかかる、緊急性・必要性から難しいと判断しています。グランドにいる時は、時計がないために時間がわからなくて困ることがよくあります。また、トイレもないために学校へ戻りますが往復で20分位もかかり、授業や部活動に支障を及ぼしています。設置の検討をお願いします。

Q 教室内で温度調整できなか

A 暖房施設の全面改修は難しい



三浦 寛大議員

中学校の暖房は、ボイラーハウスで温度調整しているため、各教室での温度管理が難しいと感じます。各教室での温度調整ができるようになります。また、時計の設置については、必要であると考えますので、学校と設置する場所を協議し、次年度に設置をしたいと考えています。

Q 公民館へ自転車置き場の設置を

A 次年度、設置したい



平野 太心議員

スポーツセンターや公民館には自転車ラック付きの自転車置き場がなく、スポーツセンター前に自転車を止めている状況です。強風の場合は自転車が倒れるなど危険性もあることから、次年度において、自転車ラック付きの自転車置き場を設置したいと考えています。

Q 中学校の蛍光灯をLEDに

A 優先的に設置したい



小池 陸議員

「環境保護」「省エネ」の観点から、学校の蛍光灯をLED化にはできないでしょうか。

野村教育長 LED化について、数多くの公共施設を対象に計画的に実施する必要があります。今後、町全体を計画的に実施するにあたり、学校施設については、優先的に設置したいと考えていますので、ご理解ください。



答弁をする 野村教育長

Q 子ども達が遊べる場所を

A 道の駅の隣に建設予定、今後も努力します



稗貫
かいと
海翔
議員

町外から訪れた人は、子ども達が遊べる場所がないという話をよく聞きます。ボルタリング（※1）場など、施設を作る考えはありませんか。

大森町長 町内には、駅から歩いて5分のところに「ふるさとの森公園」があり、PRを行っています。また、現在、道の駅の隣に広場の整備を進めており、来年の夏までに完成する予定です。今後も遊び場を増やせるよう努力していきます。

Q 「ポイ捨て禁止」の看板を

A 採用してみたい



浅野
なつ
き輝
議員

町には多くのゴミが捨てられています。子ども達が描いた「ポイ捨て禁止」の看板は置などは効果的だと思います。町はゴミ対策をどのように考えていましたか。

大森町長 ゴミ捨て防止の注意喚起は実施していますが、効果がない箇所もあります。質問にある保育園児や小学生などが描いた「ポイ捨て禁止」の看板は有効であると考えます。学校に協力をお願いし、思っています。今後も、美しい木古内町を目指していきます。

Q 町を花でいっぱいに

A 四季を通じたスポットの整備を進めたい



村上心太朗
じんた
ろう
議員

近年、町は芝桜が有名になつてきています。他にもチューリップやツツジなど美しい花がたくさんあります。秋にも紅葉や花を鑑賞できるスポットを作り、花を活かした町づくりはできませんか。

大森町長 花を対象とした観光は、多くの方が魅力を感じると思います。薬師山の芝桜は面積を2倍以上にしました。また、毎年実施している道路等の花壇への植栽などの事業を実施しています。質問にある四季を通じた花の観光スポット整備など、それらの取り組みも進めていきたいと考えています。

A 美味しい弁当の開発に取り組みます

新幹線車内では、多くの方が駅弁を食べています。駅弁の多くは地名や地域特産物が使われおり、町をPRする有効な手段だと思います。新幹線の中で販売はする考えはありませんか。

大森町長 駅弁の活用は地域のPRにつながるものと考えます。道の駅では、はこだて和牛弁当などが販売されていますが、これをおりますが、これを車内販売するためには、幾つか課題もあるため、すぐに実現することは難しく検討課題となっています。今後も引き続き検討するとともに美味しい弁当の開発に努めます。

Q 除雪の時間帯、登校時間への配慮を

A 細心の配慮に努めていきます



澤口
しょういち
翔一
議員

登校時間に除雪が行われていることがあります。少し危険を感じることがあります。時間帯が重ならないような配慮はできませんか。

大森町長 除雪は午前3時から行い通学路は優先的に実施していますが、場合によりやむを得ず登下校の時間帯に除雪を行う場合があります。その際は車両に十分注意して歩行をお願いします。万が一、除雪で危険など感じた際は先生や保護者を通じ連絡をお願いします。

(※1) ボルタリング…フリークライミングの一種で最低限の道具で岩や石を登るスポーツ。

関係大臣等へ 意見書7件を提出

12月定例会では、意見書案7件を原案のとおり可決され、内閣総理大臣のほか関係大臣等に提出しました。

※意見書とは…

国会や関係行政機関へ提出するもので、法的な拘束力はないものの、住民の代表である議会の総意として尊重されます。

《表彰》

自治功労者



佐藤 悟 氏

木古内町議会議員として6期21年3ヶ月にわたり、地方自治の振興と住民自治の推進に尽力されました。

自治功労者



笠井 敬吾 氏

木古内町議会議員として5期20年にわたり、地方自治の振興と住民自治の推進に尽力されました。

教育文化功労者



西村範明 氏

昭和53年に「わがふるさと木古内の歴史」。平成28年に「北のかたすみで木古内の歴史」自費出版。

木古内町の教育文化の振興発展に貢献されました。

お知らせ

NEWS & INFORMATION

提出した意見書7件

【地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書】

提出者 福嶋克彦 議員

【大雨災害に関する意見書】

提出者 鈴木慎也 議員

【JR北海道への経営支援を求める意見書】

提出者 吉田裕幸 議員

【全国規模の総合的なアイヌ政策の根拠となる新たな法律】の早期制定を求める意見書】

提出者 佐藤悟 議員

【国による子ども医療費無料制度の創設を求める意見書】

提出者 新井田昭男 議員

【国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める意見書】

提出者 平野武志 議員

【高額療養費】「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書】

提出者 竹田努 議員

自治功労者2名 教育文化功労者1名 同意されました



自治功労者表彰
佐藤 悟（中野地区）
笠井 敬吾（本町地区）

教育文化功労者表彰
西村 範明（札幌市在住）

議員研修会を開催しました



木古内について
熱弁された高向講師

木古内町議会 議員研修会を開催

11月18日に木古内町議員研修会を木古内町議会議場にて開催しました。

講師には、北海道商工会議所連合会会頭の高向 厳さんを招き、演題を「木古内に期待すること」と題して講演をいただきました。その中で当町に足りないものや目指すべきものなど、まちづくりの多くのヒントをいただきました。

毎年、このような研修会を一般町民等にも解放して実施しますので、参加をお待ちしております。

特集 2

議会懇談会

まちの将来

農漁商林を考える



議会が住民に信頼され民主的まちづくりを実現し、効率的な行政運営を図るには町民との連携が重要です。

昨年12月6日に経済団体（農協・漁協・商工会・森林組合）と議会懇談会を開催し、貴重な意見をたくさんいただきました。今後の議会活動の参考とさせていただきます。

特集2では、その意見の一部を掲載させていただきます。

——町で鳥獣を駆除していた大いにあります。これがたらくと思いますが、ここ数年でシカが増えています。難しいとは思いますが駆除の強化をしていただけるとありがたいです。

——ここ数年で後継者が数名増えましたが自身の後継者が多いため、町が主催となり婚活イベントを開催してもらえたたらと思います。また、その情報もいただけたらうれしいですね。

——はこだて和牛など特産品をより良いものにするためには、もっと生産者と販売者とのコミュニケーションが必要ですね。生産したものの良さを伝えていきたいです。

——将来を見据えた農業者数を考えると効率化から施設など統合も考えていかなければなりません。建設も懸念材料です。また、常に最新の農地の情報も知りたいです。

新はこだて農協



上磯郡漁協

——養殖漁業者の規模拡大に伴い外国人労働者を雇用する場合、町内の住居の斡旋等の支援策があれば良いと思います。



——今回泉沢地区部会より密漁者が入り1000万円以上の被害があるとの報告を受けました。密漁防止には、監視カメラの設置が必要だと思います。

——今年のプレミアム商品券は、全部で6千円の発行で11月の換金率は93%に昇っています。このプレミアム商品券については消費者や小規模事業者について効果のあるもので継続すべき施策と思います。

木古内商工会



寒中みそぎフェスティバル 冬花火

——町有林問題では、林齢割合が30年未満で全体の9%しかなく林齢間に隔たりがあります。そのため、皆伐や植林をしなければいけないのですが、木材の価格低迷や国の補助金枠が限られており、なかなか進んでいない状況です。



森林組合

——皆伐後の植栽は基本ですが、植栽に適しない場所もあるため、今後は皆伐後に天然化（環境林）にするなど、その棲み分けも必要になると思います。その結果、経費削減と環境推進に繋がります。

——町のイベントをもう少し町の活性化や集客のために、予算の増額や全体の仕組み作りを考え直さなければいけないと思います。

総務・経済 常任委員会 レポート



改革プランを策定する国民健康保険病院

病院事業 改革プランを策定へ 地域包括ケア構築に向けて経営の安定化を目指す

12月定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

総務・経済常任委員会は9月定例会以降、所管事務調査を2回にわたり開催し、12月定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

調査した事務調査

第7回 10月24日開催
総務・経済常任委員会

- 建設水道課
 - ・発注工事について
(現地調査)
- 産業経済課
 - ・町有林の現況について
(現地調査)

第8回 11月24日開催
総務・経済常任委員会

- 建設水道課
 - ・水道事業会計及び下水道事業特別会計の上半期収支状況について
- 病院事業
 - ・国民健康保険病院事業会計及び介護老人保健施設事業会計の上半期収支状況について

国民健康保険病院事業会計については、患者数の伸び悩み・新規看護師の確保等、課題は山積となっているが、上半期の収支状況は黒字を維持し経営努力が

事業会計においては、入所者数の減少による収入減が経営を圧迫しており、病院事業同様に「改革プラン」を作成する中で、運営形態の変更も検討されている

「所管事務調査報告」

同える。福島方面の医療バス継続や在宅医療の充実等を考慮した「新改革プラン」(今年度中に策定)に添つて今後も安定した事業運営に取り組みたい。

介護老人保健施設事業会計においては、入所者数の減少による収入減が経営を圧迫しており、病院事業同様に「改革プラン」を作成する中で、運営形態の変更も検討されている

と報告を受けた。
今後の収支状況についても、企業債の償還もあり資金不足が予想されるため、「改革プラン」を早期に作成し新たな運営形態により、健全かつ安定した運営での再出発を期待する。

両施設とも今後の「地域包括ケア」構築には、必要不可欠な施設である。木古内町の福祉において最重要施設であることを念頭に策定に努められた。

今後の施設の有効活用について、町内会活動はもとより、地域の声を取り入れた様々な福祉活動等に利用されることを期待する。

発注工事の現況について

6箇所の現地調査を行

った。そのなかで、地域住民が長年切望していた「釜谷多目的集会館」は、みんなに喜ばれる施設として完成した。施設を見るなかで、

機・イス収納場所の壁へのキズ防止策として板の貼付等、何点か追加施工すべき点はあるものの、改善は可能であるとの報告も受けて

発注工事 現地調査



釜谷ゆうなぎ館



耐震補強された消防署望楼



広々とした釜谷ゆうなぎ館研修室



町有林皆伐事業（瓜谷地区）



外壁を塗装したスキー場ロッジ

水道事業会計について
下水道事業特別会計の上半期収支状況について

水道事業会計については、給水件数、有収水量どちらも減少している。ここ数年上昇していた有収率についても漏水等の増加で減少するなど課題も多い。

企業債償還のピークは平成32年で、今後も厳しい収支状況が予想されるため、簡易水道事業移行についての調査・研究に取り組み、早期に今後の方針を作成し報告願いたい。

下水道事業特別会計について、下水道事業の柱とも言える「公共下水道事業全体計画」を今年度中に見直し、新たな計画が示される。町の方針も含め、町民が納得できるよう「計画書」となるよう期待する。

町民インタビュー

— No.2 —



～ 老若男女 木古内町民のインタビューを発信します～



プロフィール

おかやま とおる
岡山 徹さん 53歳

木古内町生まれ建川地区在住
認定農業者・農業委員・
新はこだて農協あか牛生産振興会会长

あか牛生産振興会会长として

だだいま 奮闘中！！

建川で生まれ、木古内高校、札幌学院大学を卒業後、サラリーマン生活を経て30歳でUターンし就農した。

当初、繁殖牛の生産を営んでいたが、平成7年から肥育牛の生産を始め、現在では肥育牛を約90頭育成している。優秀な肉牛を出荷するために日々の努力や研究に余念がなく、今年度で15回目を迎えた「北海道あか牛枝肉共励会」では、念願の最優秀賞を受賞した。

平成22年に結婚され、2児のやさしいパパでもある。

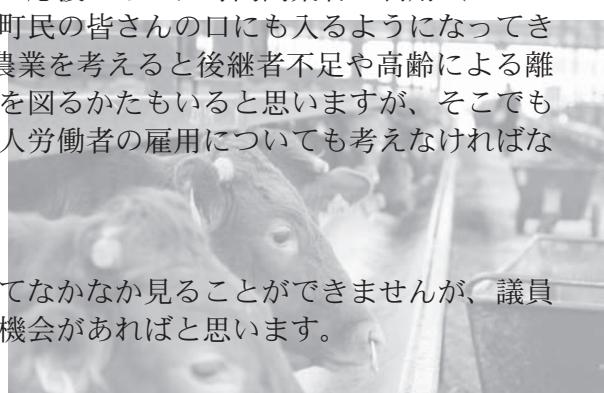
—— これらの「はこだて和牛」の生産はどうになりますか？

素牛不足から単価が上がっているので、コストダウンも含め飼料用米を混ぜて与えるなど、試行錯誤し研究を重ねています。また、町の応援もあり、町内商業者の利用（ふるさと納税返礼品を含む）も少しづつ増えており、町民の皆さんのお口にも入るようになってきたのではないかと思います。将来の木古内の農業を考えると後継者不足や高齢による離農も予想されます。その農地を借りて規模拡大を図るかたもいると思いますが、そこでも人手不足が心配されます。今後、法人化や外国人労働者の雇用についても考えなければならないと思います。

—— 議会に期待することは？

議会の傍聴やインターネット中継は、忙しくてなかなか見ることができませんが、議員の皆さんに議会の内容などを、教えてもらえる機会があればと思います。

(인터ビュー：相澤委員)



議会だより編集特別委員会
委員 相澤 巧

■ みそぎの郷きいの
のオープンに始まり、
北海道新幹線、道南い
さりび鉄道の開業や、
釜谷ゆうなぎ館、新吉
堀トンネルの完成等の
年も明け、新年は、雪
のない穏やかな年の始
めとなりました。
■ 昨年の暮れには、新
潟県糸魚川の大火など、
各地で住宅火災によつ
て亡くなるかたの報道
がされています。これ
からも寒い日が続きま
すので、体調管理に留
意され、暖房機器等の
火の元にも十分に気を
つけてください。

■ 議会では、12月定期
会より、一般質問の質
問回数の撤廃と時間制
(一問20分)を試行的
に実施しました。今後
も答弁側の理解を得な
がら、活発な議会にな
るよう調査、研究をし
ていきます。

編集後記